

	証券分析論 Investment Analysis	宮川壽夫
講義・半期・2単位	対象年次:全年次	CAFAD3340

【授業の主題】

資本市場のジュラシックパークへようこそ。カネはないけど事業の才能に溢れた経営者と、カネはあるけど事業の才能がない投資家が資本市場で出会い、経営者が投資家から出資を受けた途端に事業が誕生します。そして、経営者も投資家も資本市場も、「企業価値」の拡大を目指すことによって経済の発展と人類の繁栄に貢献します。このプロセスをつぶさに観察することが本講義の主題です。

【授業の到達目標】

そして、本講義ではコーポレートファイナンス理論を拠り所として、企業経営の根本原則となる「企業価値」の概念を習得するとともに、エージェンシー理論はじめ組織の経済学の観点から株式会社と資本市場の機能にいかなる限界があるかを学びます。有価証券の歴史や制度の分析といった講義とは異なり、「企業価値」の背景にある考え方と理論の限界について体験する本学完全オリジナル版講義です。

【授業内容と授業計画】

資本市場には数知れない複雑怪奇なミステリーが潜んでいます。これから諸君を企業、市場、株主・投資家の三つのゾーンに分けてご案内しましょう。各ゾーンで学んだ知識を用いて最後の触れ合いゾーンでは現実に起きている矛盾を具体的なテーマに沿って検討します。すべてのゾーンを体験し終わったとき諸君はファイナンス理論における主要トピックを「上から目線」でカバーすることになるでしょう。諸君はこのジュラシックパークで新たな知識を得るとともにまた新たな謎も発見するはずです。さあ、しっかりとシートベルトを締めてください。途中退席する学生の安全については保障ができないキケンな講義です。

- | | |
|---|--|
| 1) 巨大生物ゾーン ～株式会社の仕組みと資本市場
第1回：株式会社とはなにか
第2回：なぜモノには値段がつくのか
第3回：会社の価値はだれが決めるのか
第4回：会社の価値はどうやって決めるのか
2) 猛禽類ゾーン ～限定合理性と組織の経済学
第5回：完全市場というという考え方
第6回：なぜ市場は間違ってしまうのか
第7回：なぜ経営者は自分勝手に行動するのか
第8回：なぜ企業は利潤を最大化できないのか | 3) 肉食類ゾーン ～ウォール街の分析
第9回：ウォール街：解説編
第10回：ウォール街：分析編
4) 触れ合いゾーン ～市場とガバナンス
第11回：株主と従業員どちらが大事か
第12回：経営陣の責任とはなにか
第13回：市場の公正性とはなにか
第14回：会社はだれのものか
第15回：まとめ |
|---|--|

【事前・事後学習の内容】

事前に配布資料の準備、事後は指定参考書を熟読してパーク内での身の危険に備えてください。

【評価方法】

期末試験を実施します。ただし、講義に出席して資本市場のジュラシックパークを体験することが最も重要です。各ゾーンでは諸君が安全に生存していることを確認する仕組みがほぼ日常的に取られており、出席した人がトクをするような試験内容と評価メカニズムを採用しています。

【受講生へのコメント】

弱肉強食のドラマが展開するジュラシックパークから無事生還を果たした諸君の体験は、経営学分野の多くの科目において幅広く応用できるはずです。講義を楽しんで下さい。

【教材】

パーク内を迷わず安全に回っていただくための愛をこめたガイドマップが資料として宮川研究室ウェブサイトアップされます。『企業価値の神秘』宮川壽夫著（中央経済社）が参考書です。